

平成 2 6 年

第 5 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 6 年 9 月 3 日

平成26年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月22日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が、国公立の小・中学校が全校参加して、全国一斉に実施されました。本市でも小学校7校、中学校5校が参加しております。

結果は、文部科学省から8月25日に公表され、秋田県は小・中学校とも引き続き全国トップレベルの結果がでております。

本市小・中学校の結果も報告されており、調査対象全教科について、小学校、中学校とも全国平均を上回り、学力調査については概ね良好な結果となっております。

今後は、結果の分析から本市の課題を明らかにするとともに、調査結果を活用した授業等の改善へ向けて、各校での取り組みを進めて参ります。

◇仙北市・富士河口湖町子ども交流事業について

クニマスの再発見を契機に始まった交流事業も3年目を迎えました。

今年は、8月1日から3日まで、市内中学校3年生6人が富士河口湖町を訪問しました。

参加した生徒は、山梨県水産技術センター忍野支所でクニマスを実際に見学し、発見までの経緯や現在の状況等について説明を受けました。

また、富士河口湖町の町長、副町長、教育長とも面会し、

講話をいただきました。

3日間の訪問を通して、生徒たちは富士河口湖町周辺の雄大な自然のすばらしさに感動するとともに、町長の講話を聞き、近年頻発している自然災害等の観点からも両市の協力関係が大切であることを学びました。

参加した生徒には、在籍校での体験発表の機会を設け、市内中学生にクニマスや環境保全等、仙北市の将来について考えさせ、地域に貢献しようとする意欲の育成につなげて参ります。

なお、9月21日の田沢湖マラソンには、富士河口湖町から大人4人が10キロと20キロに出場し、交流する予定です。

【生涯学習課】

◇仙北市成人式について

8月15日に仙北市民会館において、仙北市成人式を開催いたしました。今年の新成人267人中、218人が参加し、久々の友との再会を喜びながら、和やかな雰囲気の中にも、厳粛に式典が行われました。

今年の成人式は、司会から「成人の誓い」まで、新成人自らが先頭に立って進行を執り行いました。

「成人の誓い」では、社会人としての自覚を持ち、自らの将来像に向かって努力したい、地域活性化に尽くしたいなど、新成人らしいしっかりした強い決意が述べられました。

また、今年は、笛・太鼓・踊りなど、郷土芸能に取り組んでいる新成人が多かったことから、式典に先立って秋田民謡や手踊りなどのアトラクションも行われ、新成人はもちろんご出席いただいた来賓や恩師の方々にも喜んでいただける成人式となりました。

来年度以降も、新成人の特色を引き出しながら、積極的な企画運営に取り組んで参ります。

【公民館】

◇生保内節盆踊りについて

8月20日、田沢湖庁舎駐車場を会場に、44回目を迎えた「生保内節盆踊り」を開催しました。

午後7時の開会行事では、昨年8月9日に田沢供養佛地区で発生した土石流災害により、亡くなられた方々へ黙祷を捧げました。

時折強い雨が降る生憎の天候となりましたが、だしのこ園や生保内小学校の児童、婦人会の皆様をはじめ、市内外から訪れた200人余りの参加者が、やぐらの周りに大きな輪を作って踊り、過ぎゆく夏を大いに楽しみました。

また、踊りの合間には、おやま囃子青年部や石神稲穂太鼓保存会、だしのこ園、生保内田植え踊り保存会、生保内出身の民謡歌手、浅野沙樹さんによるアトラクションや、参加者を対象とした特別賞、福引抽選会など多彩な催しもあり、500人ほどの来場者とともに、会場は大いに盛り上がりました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「秋田の文学について知ろう」について

10月4日から新潮社記念文学館では、国民文化祭仙北市事業「秋田の文学について知ろう」として、「秋田にゆかりの作家パネル」展を開催いたします。芥川賞作家で当文学館の名誉館長である高井有一氏、直木賞作家で仙北市出身の千葉治平氏、西木正明氏を始めとした、秋田県出身やゆかりの作家のパネル等による紹介と秋田の児童文学に関する企画展

示です。会期は11月3日までとなっており、皆さまのご来場をお待ちしております。

また、10月26日には、角館交流センターにおいて、小・中学生を対象とした調べ学習コンクールの表彰式と直木賞作家西木正明氏と森絵都氏による特別講演を合わせて行います。そのほかにも、秋田県立大学教授高橋秀晴氏、秋田県生涯学習センターシニアコーディネーター北条常久氏による文学講座を10月6日と9日に、お話と歌の「グループかぜ」代表谷京子氏による朗読公演を、10月16日に仙北市総合情報センターを会場に行いますので、皆さまのご来場をお待ちしております。

【市民会館】

◇「生保内節全国大会」について

第29回目を迎える「生保内節全国大会」は、9月22日と23日の2日間にわたり開催されます。

少子高齢化等の影響で、年々出場者の減少傾向が続いておりましたが、今年の大会有には、一般の部に150人、年少者の部に26人の出場申し込みがあり、昨年のお出場者より40人ほど多くなっております。

「生保内節」は、古くから唄い継がれてきた秋田県を代表する民謡の一つであり、全国の民謡愛好家にも親しまれていることから、大会を通じて民謡の普及、伝承に努めるとともに、直前に迫った国民文化祭の盛り上げにもつながるよう、着実に準備を進めて参ります。

【スポーツ振興課】

◇2015 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会について

6月に開催されたF I S（国際スキー連盟）の会議において、平成27年2月28日と3月1日の両日に、秋田県田沢湖スキー場で、モーグル及びデュアルモーグルのワールドカップ開催が正式に決定いたしました。

また、9月4日と5日には、F I Sのコーディネーターによるインスペクション（現地調査・視察）が田沢湖スキー場で行われる予定で、コースレイアウトや大会運営方法などについて協議することになっております。今回のインスペクションでは、F I Sからの要望なども示される予定であり、選手が最高のコンディションで試合に臨めるよう、万全の体制で各種準備に取り組んで参ります。

◇田沢湖マラソンの開催について

9月21日開催予定の第29回田沢湖マラソンには、全国各地から5,670人の参加申し込みをいただきました。昨年の6,176人には届きませんでした。昨年同様、応援を含めた多数のお客さんをお迎えするため、新規に武蔵野の臨時駐車場を開設し、受付時の車両渋滞の解消などを図りたいと考えております。

招待選手は、東京・メキシコ・ミュンヘンのオリンピックで、3大会連続でフルマラソンに出場し、メキシコ大会では銀メダルに輝いた君原健二さんです。

今年は、全公認コースにより競技を行うこととしており、市民の皆さんから昨年以上のご協力とご声援をいただき、大会を盛り上げて参りたいと思っております。

【文化財課】

◇重要伝統的建造物群保存地区修理事業等について

国庫補助事業の重要伝統的建造物群保存地区修理事業は、

小田野家主屋修理工事の2年目として、文化庁の現地指導などもいただきながら、戸袋・出窓などの木工事、内外壁の漆喰壁補修、内外部の建具工事、板蔵・屋根洗浄及び塗装、畳の張り替えなどの工事発注を行いました。

また、国庫補助事業の伝建群保存地区防災計画の関係につきましましては、実施設計業務を株式会社嶋崎建築設計事務所と契約締結しました。歴史的町並みと武家屋敷の木造建造物や環境物件である景観樹木などを火災や地震等から守るため、主として防災施設の老朽化等の見直しを予定しております。内容につきましましては、既存施設の劣化状況、消火ポンプ・屋外消火栓のメンテナンス、新規施設設置の適正配置・機種選定などの検討を行い、来年度以降の工事につなげる計画です。

秋田藩角館郷校「弘道書院」復元につきましましては、一昨年の検討委員会の報告内容や昨年度行った試験掘りなどの経緯を踏まえ、調査掘削については、より慎重かつ丁寧に対応したいと考えております。歴史的景観にも配慮しながら進めて参ります。

国指定重要文化財の草薙家住宅については、前期の消防設備保守点検を行ったところ、動力ポンプ本体から放水時に大量の水漏れが発生しました。原因を調査したところ、昭和55年に設置してから35年が経過して劣化が著しく、また、部品も無く交換できず放水に支障をきたしているためであり、速やかに改修を実施いたします。

【平福記念美術館】

◇「風立ちぬ」・「かぐや姫の物語」原画展について

7月5日から8月24日まで、「風立ちぬ原画展」と「かぐや姫の物語原画展」を開催いたしました。

映画製作初期段階に描かれたイメージボードや原画等の美

術資料150点以上を展示し、来館者を魅了し、喜んでいただくことができました。また、「かぐや姫の物語」の美術監督を務めた、男鹿和雄さんが描いた「秋田、遊びの風景」も併せて展示し、懐かしく、ほのぼのとした作品を多くの方々に楽しんでいただきました。期間中の入館者は、14,630人となっております。

◇「生誕170年 平福穂庵展」について

8月30日から「生誕170年 平福穂庵展」を開催しております。

仙北市（旧角館町）出身で、江戸時代末期から明治にかけて活躍した日本画家・平福穂庵の生誕170年の節目を記念しての企画展です。

激動の時代にあって、師に頼らず己を信じて、新しい日本画の道を切り開いた、穂庵ならではの奔放で写実的な描写の世界が楽しめる作品展となっており、46年の生涯の中での秀作30点を展示しております。この機会に是非郷土が誇る平福穂庵の代表的な秀逸作品をじっくりとご鑑賞いただきたいと思っております。

【国民文化祭推進室】

◇国民文化祭ガイドブックの全戸配付について

第29回国民文化祭・あきた2014の開催まで、残すところ1カ月となりました。これまで国民文化祭の認知度と盛り上がりを図るため、県内外の関連イベントでのチラシ配布や新聞掲載、ラジオ番組への出演などを行ってきました。今後は、テレビ番組への出演も含め、一層のPR活動を実施して参ります。

また、さらなる周知と機運の醸成を図るため、その集大成ともいふべきガイドブックを作成いたしました。このガイド

ブックは、「ブンカ☆ステーション仙北市 GUIDEBOOK 国民文化祭仙北市ガイドブック」として、B5版カラー24ページからなり、1事業を2ページにわたって紹介するなど、仙北市で行われる10事業の詳細と民間団体が行う県民参加事業の内容などが、詳しく記載されております。市民の皆さんへのイベント情報として、また、来訪者への案内など、おもてなしへの活用等を期待して全戸配付いたしました。

各事業についても、出演者や出展者が決定し、30にのぼるイベントの準備も着々と進んでおります。10月4日から11月3日までの開催期間中は、紅葉シーズンとの相乗効果と、市民の心からのおもてなしにより、全国から多くの方々にお越しいただけるよう、万全の体制で取り組んで参ります。

以上、教育行政に関する報告を申し上げますが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。